

令和4年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		5-	1
事業名	男女共同参画事業	会計	款	項	目
		一般	2	1	6
政策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために	課名	町民課		
施策	3-5 男女共同参画社会の実現	係名	町民活動係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民、町内団体、学校、事業所など	目的 (対象がどのような状態になっているか)	女性と男性が互いに人権を尊重し、喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮できる社会、いわゆる「男女共同参画社会」を実現させる。
事業内容	男女共同参画事務…第3次東員町男女共同参画プランに掲げられた4つの基本目標を推進し、それぞれの目標における2022年までの数値目標の達成を目指す。平成30年度に策定していた男女共同参画条例については平成31年4月に施行することができた。男女共同参画推進委員会でのプランの進捗管理を行いつつ、講座や映画等の啓発活動についても従前どおり実施していく。三重県産業支援センターと共催する地域活性化雇用創造プロジェクトや三重県内男女共同参画連携映画祭により啓発活動を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1	男女共同参画啓発回数	0	1		回	→	2
2	審議会における女性委員の比率	30.7	32.8		%	↑	35.0	
3								
4								
5								
			令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(予算)	
全体事業費(千円) A+B					2,366	2,481	2,454	
財源内訳	直接事業費 A				320	435	540	
	うち一般財源				320	303	189	
人件費(千円) B					2,046	2,046	1,914	
内訳	一般職員(人・千円)		0.31	2046	0.31	2046	0.29	1914
	臨時職員(人・千円)		0	0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	コロナ禍における事業中止が続く中、今後ウイズコロナによる実施可能な事業を模索して実施できるよう、他市町からの情報収集により、事業の実施につなげたい。	③取組の課題	男女ともに、性別による役割についての固定概念が未だに散見されている。また、女性側で社会への参画を躊躇う傾向もあり、この意識を改めていくことが課題である。
②R4年度に実施した取り組み	三重県内男女共同参画連携映画祭及びフレンテ三重主催の男性講座の実施並びに第4次男女共同参画プランの策定を行った。	④今後の改善計画	第4次男女共同参画プランに基づき、事業を着実に進めていかなければならない。